

# 指導をつなぐ授業づくりのポイント

「中丹のまなび ～授業改善サポートブック～」に、より詳しく掲載しています。

## ポイント1 課題設定

教材研究、実態把握、指導構想  
習得から活用までを見通した単元指導(評価)計画  
付けたい力の明確化  
必然性のある課題、主体的に学ぶための課題設定

本時の目標は、「分数を小数で表す方法を考えることができる」であるが、あえて、「分数を小数に直す方法を考えよう」と課題設定をせず、考えの幅を持たせている。

【課題設定の工夫例 小学校5年算数】

(舞鶴市加佐地域の実践)

「分数を調べよう」<教科書の課題を変更>

$\frac{3}{4}$ ,  $\frac{2}{3}$  を小数で表しましょう。

$\frac{1}{5}$ ,  $\frac{3}{4}$ ,  $\frac{9}{6}$ , 0.2, 0.75, 1.5

等しい大きさのペアを見つけよう。



9年間を見通した算数・数学のスムーズな接続を目指して、中学校での思考の基盤として小学校で付けておきたい力を明確にすること、児童の実態を基に、本時では、どのような力を付けたいのか、どのような思考をさせたいのかをしっかりと考えて課題の設定を工夫すること、「教科書を教える」のではなく「教科書で教える」ことなどを大切にしたい例である。

## ポイント2 自分で考えたり、表現したりする場の設定

算数・数学的活動の重視  
書くことで情報や考えを整理(ノートの活用)  
書かせたいこと、まとめさせたいことの明確化  
関連する既習事項を提示する等の支援(個に応じた指導)

学習した日付やめあて、自分の考えを書かせるなど、丁寧なノート指導がされている。

## ポイント3 考えを伝え合い、学び合う場の設定

言語活動の充実(教科の目標を達成するための手段)  
根拠や理由を明らかにし、筋道を立てて説明  
自分の考えや意見と比較(共通点、相違点)  
練り合いからの気付き、理解の深化  
本時の目標に迫るまとめ



## ポイント4 振り返り

1時間の学習の振り返り(まとめと新たな気付き)  
児童生徒の達成感や満足感、次の学びへの意欲の向上  
日常生活や他教科等と関連付ける工夫  
指導者としての評価と授業改善

9/9(水) 9/9のめあて  
P.42 文字を使った式を表す

問題 マッチ棒を並べて正方形を作る。正方形を20個作るにはマッチ棒が何本必要ですか。

①  
②  
③  
④

最初の正方形を20個作るのに1つ作ると20-1をして19になり  
あと19個作るには必要ないから3本ずつで20-1はつく  
ので19×3で57になりました。  
正方形1つで4本の棒がつながっているので57+4で61本になります。

<マッチ棒の本数を式で表す>  
・正方形が5個のとき(16本)  
・求めるための式を考える

・ $4+3 \times 4 = 16$      $4+3 \times 3 = 13$   
    $\frac{4}{5} - 1 = 4$

①の式  
②  $3 \times 5 + 1 = 16$      $3 \times 4 + 4 = 16$      $5 \times 4 = 20$   
③  $5 \times 2 + 6 = 16$      $4 \times 4 = 16$      $20 - 4 = 16$   
④  $1 \times 3 \times 5$  の別解に考える

この時の式  
 $1+3 \times (\text{正方形の数})$   
 $1+3 \times 4 = 16$      $1+3 \times 3 = 13$      $1+3 \times 2 = 10$      $1+3 \times 1 = 4$

文字の式

正方形	マッチ棒	式
1個	4本	$1+3 \times 1$
2個	7本	$1+3 \times 2$
3個	10本	$1+3 \times 3$
4個	13本	$1+3 \times 4$

まず自分の考えを持たせる。  
グループ交流をし、発言しにくい生徒への手立てとする。  
友達も考えも書かせる。  
本時のポイントやまとめを書かせる。  
評価問題プリントもノートに貼らせる。

(福知山市立桃映中学校の実践)

## ポイント5 評価

確かめ問題による定着の確認とその評価  
習得した知識・技能を活用する場の設定  
指導者としての評価と授業改善

思考力・判断力・表現力等の評価は、言語活動を中心とした表現に係る活動や作品等と一体的に行う。  
また、結果だけではなく、過程を含めた評価を行う。  
(思考力・判断力・表現力等を評価するに当たっては、パフォーマンス評価・ポートフォリオの活用等、各校において様々な方法を研究し、共通理解の下で適正に行われるようにする。)

$$\frac{3}{4} \quad \frac{3}{4}, \frac{2}{3} \quad \frac{3}{4}, \frac{2}{3} \quad \begin{matrix} \Downarrow & \rightarrow \\ \Leftarrow & \Downarrow \end{matrix}$$

$$\frac{1}{5}, \frac{3}{4}, \frac{9}{6}, 0.2, 0.75, 1.5 \quad \frac{1}{5}, \frac{3}{4}, \frac{9}{6}, 0.2, 0.75, 1.5 \quad \begin{matrix} \Uparrow & \Downarrow & \Leftarrow \\ \Leftarrow & \Leftarrow & \Leftarrow \end{matrix} \quad \begin{matrix} \Leftarrow, \rightarrow \\ \Leftarrow, \Leftarrow, \rightarrow \\ \Uparrow, \Leftarrow \end{matrix}$$

$3/4, 2/3$   
を小数で表すことを  
考えましょう。

$1/5, 3/4, 9/6, 0.2, 0.75, 1.5$   
等しい大きさのペアを見つけよう。

$\frac{3}{4}, \frac{2}{3} \quad \begin{matrix} \Downarrow & \rightarrow \\ \Leftarrow & \Downarrow \end{matrix}$   
を小数で表  
すことを考えましょ

$\begin{matrix} \Uparrow & \Downarrow & \Leftarrow \\ \Leftarrow & \Leftarrow & \Leftarrow \end{matrix} \quad \begin{matrix} \Leftarrow, \rightarrow \\ \Leftarrow, \Leftarrow, \rightarrow \\ \Uparrow, \Leftarrow \end{matrix}$   
等しい大きさのペアを見つけよう。